



認定看護師 CN-NEWS VOL.14

2018年2月 第14号

認定看護師の活動や情報を紹介します

今年もそれぞれの分野で専門性を発揮し、
ベッドサイドケアの充実を目指していきます。



看護フェア 開催

認定看護師による看護フェア「看護体験」 第二部「応用編」実施報告

がん放射線療法看護 認定看護師
野中 雅人

先日、認定看護師による看護フェア「看護体験」第二部「応用編」を開催しました。院内の職員はもとより、生涯教育講座とした本会は院外からも多くの方にご参加いただきました。何か1つでも実践に役立てて頂きたいと、各領域の認定看護師が趣向を凝らしたブースには、興味深く説明をきいていただけたのではないのでしょうか。「わかりやすかった」など、ご意見を頂き、今後の活動の参考にさせていただきます。お忙しい中、多数ご参加いただきありがとうございました。



緩和ケアブースで
「がん患者のせん妄予防とケア」
の話をしている笹田認定看護師



活動日を活用して

皮膚・排泄ケア認定看護師
上野 直美

4月から6階東病棟に配属となり、第1・3木曜日を活動日とし実践しています。皮膚排泄ケア分野は、スキンケアを基盤とし、創傷・ストーマ・失禁領域において、あらゆる疾患患者が対象となるため、ニーズの高い分野だといえます。

今後は昼のカンファレンス時間を利用して、各病棟のニーズに応じた「ミニ学習会・演習」を企画したいと考えています。ご興味がある病棟はいつでもご連絡ください。



NICUでの活動

新生児集中ケア認定看護師

栗原 かおる



急性期にある新生児と家族へのケアを行っています。新生児の救命技術として、新生児蘇生法(NCPR)講習会を定期的に開催しています。11月にスキルアップコースを開催し、院内外から15名の参加がありました。次回は2月に専門コースを開催予定です。

出生直後の対応だけではなく、新生児の急変時対応のシミュレーション学習としても有効です。病棟学習会などへの応用も可能ですので、新生児蘇生の技術向上を図りたい方はぜひご連絡下さい。

7階東での活動

認知症看護認定看護師

内山 寛美



部署スタッフと、せん妄予防に取り組んでいます。ハイリスク患者・家族にリーフレットを渡し、せん妄による不安を増強しないように説明するとともに、予防のため時計・眼鏡・補聴器の持参を依頼しています。またナースコール使用方法の掲示や、ルート自己抜去予防のため点滴を認識できるよう掲示を工夫し、患者さんの安全を守っています。せん妄の一番の発症リスクは睡眠パターンの混乱であるため昼夜逆転を防ぎ熟眠感が得られる睡眠がとれるように心がけています。

せん妄は予防が最優先です。過度な拘束や合併症による体力・機能低下により、長期間の回復過程を経ても従来のレベルまで戻らない『入院関連機能障害』が出現しないよう、活動内容を評価・検討していきます。

裏面もあります



すぐに活かせるベッドサイドケア

どこの病棟でも接する機会の多い患者さんについて専門分野からベッドサイドケアのポイントを紹介します！



気管吸引のタイミング

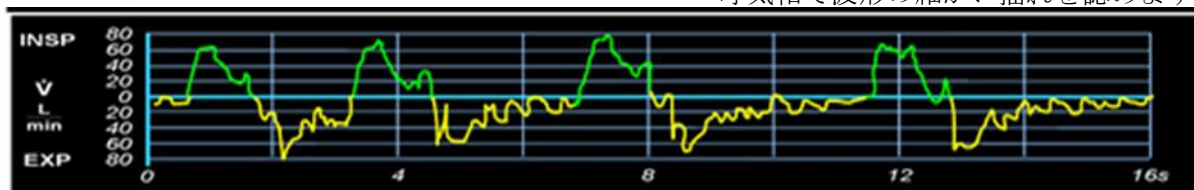
ICU NS 集中ケア認定看護師 村上閑香

人工呼吸器を装着している患者は、鎮静剤の使用、疼痛、その他の侵襲などにより咳嗽力が低下しています。そのため気管吸引は自己喀出できない気管分泌物を取り除き、気道を開存するために必要な処置です。しかし気管吸引は場合によっては血圧の変動や不整脈の出現、頭蓋内圧の上昇など、患者に侵襲を与える手技です。そのためルーチンで行うのではなく、患者の状態を正しく把握し、必要か否かの評価を行うことが重要です。

気管吸引の実施のタイミングは、①呼吸音の異常②呼吸器回路の雑音や振動③一回換気量の変動④SpO₂の低下⑤EtCO₂の波形の変化⑥人工呼吸器グラフィックモニターでフロー曲線の呼気相で波形の細かい揺れの出現などです(図)。細かな揺れは痰の貯留による咳嗽で、呼吸器と患者の呼吸リズムが合わなくなるバックギアが原因です。

患者の状態を正しく把握し、必要性を見極めて実施していきましょう。

呼吸相で波形の細かい揺れを認めます



上肢の小さな麻痺の見分け方

患者さんが食事中に器が上手く持てない、箸を何度も落とすなどと訴える時は脳梗塞や脳出血を発症している可能性があります。その手の症状は「麻痺」が疑われます。明らかに手が動かせない場合は麻痺であるとすぐにわかりますが、このような小さな変化は判断しにくいものです。今回はこの症状が、麻痺かどうか調べる方法を紹介します。

まずは患者さんに目をつぶってもらい、手のひらを上にして両手を胸の前にも上げてもらいます。

麻痺がある側の上肢は回内してゆっくり下がる、もしくは小指・薬指がゆっくりと屈曲します。前者はバレー反応が陽性、後者は第5指徴候陽性といい、麻痺があるといえます。

このような場合は、脳卒中が疑われますので医師に直ちに報告してください。

10階東NS

脳卒中リハビリテーション看護
認定看護師
大宮剛



閉眼、手のひらを上にして
胸の前に手を挙げてもらいます



左上肢バレー反応陽性



左手指第5指徴候陽性